みんなでつないで リレーエッセイ

◎町民の皆さんから皆さんへエッセイをつないでいくコーナーです。お誘いが来たら、ぜひ書いてくださいね。

MONTHLY RUNNER

子ども俳句凧

池田　久枝さん（駄場）

今から12年前、五十崎自治センターで親子俳句教室があり、子どもと参加したのを機に俳句を始めました。講師に夏井いつき先生を迎え、季語と季語以外の12文字で俳句を作る取り合せの方法で、初心者向けの作り方を教えてもらいました。例えば「ねえちゃんと犬を拾った」の12文字と、季語の「桜草」を合わせて、「ねえちゃんと犬を拾った桜草」と俳句ができる方法です。教室では、子どもも大人も俳句の楽しさを知り、他の人の句の良いところを認め合う句会を楽しみました。

その後、参加していた大人の句会ができ、はるばる松山や八幡浜から句会に参加する人もいて、仲間が増えました。

そのころ、平成16年の「えひめ町並博」の開催に当たって五十崎の凧と俳句を合わせたイベントの提案があり、子どもたちから俳句を募集して入賞した俳句を凧に子ども自身の文字で書いてもらい、5月5日のいかざき大凧合戦の日に河原で表彰式と凧揚げを行いました。町並博の終了後も子ども俳句凧大会を続けていこうと、船田英美代表や句友と共に、八幡浜のみかんを分けてもらって五十崎文化祭で販売したり、焼き芋屋をしたりして資金を作り、大会を続けてきました。

そして一昨年から、内子町観光協会が募集していた「五十崎の空に凧が舞う」と合併しました。現在、作品を募集中です。2月末が締切ですので、多数の子どもたちの作品をお待ちしています。時には活動がいつまで続けられるのかなと思いましたが、俳句の好きな仲間と、多くの方々のご協力で8年間続けることができました。

風薫る河原で、審査員の先生方の講評を聞き、凧が大空に舞う姿を見ると、「また来年も」と思ってしまうのです。俳句の上達はさておいて、言葉と人のつながりを大空に揚げ続けたいと願っています。

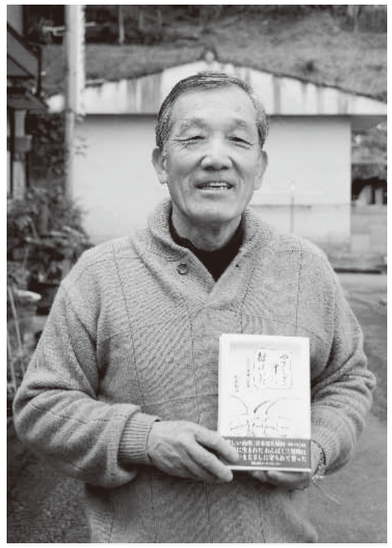
▼▼▼ 次は、山本和枝さん（新川町）にお願いします。

内子町の人☆キラリ

◎若者と大人。異なる世代の皆さんに、頑張っていることや楽しんでいることを聞きました。「キラリと光るエコロジータウン・内子」の光の源です。

感謝を込めて、自伝的小説集を出版

和田　親人さん（70）上町



長年教員として勤務し、内子小学校や天神小学校などの校長も務めた和田親人さん。先月、教員になるまでの体験をまとめた自伝的小説集『やさしさの中に彼はいた』を出版しました。

家族によく幼いころの思い出話をしていたという和田さん。「本にまとめてみては」という家族の勧めで出版を決意し、1年ほど前から記憶をたどりつつ原稿を書き始めたといいます。

綴られているのは、家族や友人との思い出、学校での出来事など、懐かしい日々のさまざまなエピソード。その中で和田さんが「本を書く原動力になった」と話すのは、叔父・来延さんと妻・マツ子さんのこと。「結婚式の数日後に満州へ渡り、遠い異国の地に散った二人。その無念さを思うと残念でたまらない。この話を多くの人に知ってもらいたいと思った」と語ります。

「私がこうしてあるのは、支えてくれた多くの人たちの優しさのおかげ。その感謝の気持ちを本に込めた。長年やらなくてはと思っていたことを果たせて安堵している」という和田さん。今後、「本にするかどうか分からないが、教員時代の思い出も記録に残していきたい」と話していました。

愛媛県高校剣道１年生大会で初優勝

小田高校剣道部

「第13回愛媛県高等学校剣道１年生大会」（愛媛県学校剣道連盟主催）は１月９日、県武道館で開かれ、小田高校剣道部（芝誠司顧問、部員18人）から出場した中野美幸さん、宮内麻世さん、西野瑠伽さんの３人が女子団体の部で初優勝の快挙を成し遂げました。

現在、同部の女子部員は２年生２人を合わせた５人。普段はこの５人でチームを組んでいますが、今回は１年生大会ということで３人のみで出場。西野さんは「先輩たちが後ろから支えてくれたことが大きな力になった」と言います。「高校の練習は厳しいけれど、毎日が充実している。入学して８カ月、技術と精神の両面で成長したと思う」と中野さん。宮内さんは「私たちの持ち味はチームワークの良さ。それぞれが自分の役目を果たせたことが結果につながった」と大会を振り返ります。

「これまで良い結果が残せていなかったので、優勝できてうれしい。先生や先輩、保護者など支えてくれた多くの人のおかげ」と笑顔で話す３人。「目標はインターハイ出場。みんなで一丸となって頑張りたい」と、一層意欲を燃やしています。

おめでとう

はじめてのバースデー

HAPPY BIRTHDAY

◎２月に満１歳になる子どもたちを紹介します。

2.5

森　紗菜ちゃん　内子10

早く歩けるようになって、パパとママとお散歩行きたいな♡

2.4

大本　悠仁くん　江子

食べるの大好き♡　早くねえねたちみたいにいっぱい食べたいです

2.4

松下　小梅ちゃん　内子19第2

リモコンかじるのだぁい好き♡

2.13

宮岡　拓都くん　柿原

お兄ちゃんと遊ぶの大好き♡
早く一緒にサッカーしたいな！

2.12

池田　線くん　長田

あやすとにっこり。
みんなが幸せ

2.9

黒田　創太くん　日野

お兄ちゃん大好き！
早く歩けるようになりたいな

まちの声

VOICE

声　町の乳がん検診の対象者は40歳以上となっていますが、もっと若い年齢から検診を受けるべきではないでしょうか。

（30代・女性）

答　若年者は乳腺が発達していて濃度が高いため、乳房全体が白っぽく写り、しこりが隠れて発見しにくいため、集団検診で行うマンモグラフィーでは正確な判断が下せないという専門医師の指摘から、内子町では21年度から、乳がん検診の対象を40歳以上としています。しかしご意見のとおり、39歳以下でも乳がん発症の危険性は少なくないため、若い年齢の人の受診はとても有効なことです。そこで、より精密な超音波検診などによる集団検診を実施できないか、現在、検討を進めています。

（地域医療・健康増進センター）

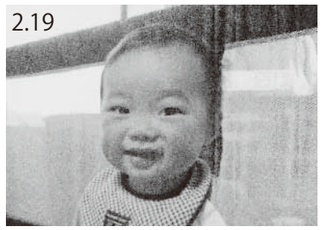
●皆さんの「声」をお寄せください。

【宛て先・問い合わせ】
〒795-0392
内子町役場　総務課
政策調整班　広報・広聴係
☎0893（44）2111
✉koho@town.uchiko.ehime.jp

2.22

和氣　詩乃ちゃん　福岡

ねえねもにいにも大好き♡
早く一緒に歩きたいな♡



2.19

土井　勝揮くん　富中

早く歩けるようになってパパとブーブで遊びたいなぁ

2.19

中野　詠人くん　和田

みんなにかわいがられて幸せなボクです

2.25

白石　葵ちゃん　西沖

陽・樹・泉、いつも葵と遊んでくれてありがとね！

2.25

前田　和樹くん　田ノ口

やんちゃなわが家のアイドル☆
元気に大きく育ってね

2.24

金井　大雅くん　内子３

たっち大好き☆
早く歩いてお散歩行きたいな♡

広報クイズ QUIZ

◎正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円分）をプレゼント

広報うちこ（２月１日号）を読んで、①～⑤番の丸印の空欄をひらがな・カタカナでうめてください。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉ができるでしょう。
※小さい「っ」「ゅ」や、濁点が付いている「が」なども一文字とします。

①今号の住人十色は全国高校文芸コンクール俳句部門で入賞した●○○○○○○さん。
②１月12日に開かれた「まちづくり観光振興セミナー」では、まち歩きの観光で有名な「長崎○○●」の取り組みを学習しました。
③今号のリレーエッセイは駄場地区の池田久枝さん。テーマは「子ども●○○凧」。
④１月１日付けで福積あさみさん（八代）が人権○●○委員を嘱託されました。
⑤第７回内子町駅伝競争大会では、○●○高校野球部Ａが総合優勝を果たしました。

■応募方法■

ハガキに、クイズの答え、氏名、住所（行政区）、年齢を書いて送ってください。応募は１人１通までです。

■宛て先■　〒795−0392
内子町役場　総務課　広報・広聴係
■締め切り■　３月１日（消印有効）
■当選者発表■　広報うちこ（４月１日号）

12月１日号クイズ当選者の皆さん（敬称略）	玉木サカヱ（内子17）
	新　　直子（内子20）
	比多岡ゆき子（護国）
	矢野イクヱ（護国）
	森本多代子（富長）
●正解	大森　真一（立川中央）
おおみそか	高松　祐子（上立山）
●応募数　56	向井トヨ子（川上）
●正解数　56	曽我部久仁子（平成）
	福岡美佳子（松山市）

みんなのひろば